

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和2年7月28日
タイトル	蓮池幹線用水路で自然体験！2020
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和2年7月18日（土）福山市西深津学区において「蓮池川自然体験」が開催されました。

福山市立西深津小学校のある西深津学区では、西深津学区まちづくり推進委員会が主催で毎月「こども土曜クラブ」を実施しておられ、子ども達が学区内にある蔵王山や校舎の目の前を流れている蓮池川（水土里ネット福山が管理する蓮池幹線用水路）という故郷の自然とふれあうことや地域住民と交流することで自然や地域に興味を持つよう取組みをしておられます。「蓮池川自然体験」として蓮池川へ船を浮かべて子ども達が乗船体験をしました。

朝8時40分より蓮池川の乗船体験です。安全を確保するため子ども達にライフジャケットを着用させ、乗船前には「急に立ち上がったたり覗き込むと転落するので注意しましょう。」と話をされました。

またコロナウイルス感染防止対策のため参加者の検温をし、マスク着用をしておられ、船上体験が終わってライフジャケットを回収するとその都度消毒をするなど対策を徹底しておられました。



当日は梅雨の中休みで朝から晴れていました。蓮池川は大雨のため治水対策として数日前から芦田川からの取水を止めていたので例年より水位が低く、船に乗り込むために梯子をかけていました。

船には、地域の方や保護者が船頭として乗船され、子ども5、6人と保護者が一緒に乗りました。水位は大人の膝のあたりで、橋の下を潜る時は、頭をかかめて通過し橋の裏側を間近で見ることができました。

船上体験をしながら公民館長さんが「蓮池川」として地域で親しんでいる川は人工的に造られたもので、福山城築城と同時に造られた水路を400年たった今も農業用水として使われていることを話してくださいました。

船に乗ることで水面や護岸を近くから見ることができ、水中の生き物や水草、護岸の鳩の巣など、普段では見られない川面から見える景色を楽しみました。



セミが元気よく鳴いていました！

空蟬も発見！

百日紅の花粉に蜂が！

船上体験を待つ間、護岸に植えられた木々にいろんな虫が飛んできました。子ども達はセミや蜂などの昆虫にも興味津々で「このセミはクマゼミの雌じゃな！」などと昆虫観察に夢中でした。

参加者から「6年生で最後だったので、船上体験ができてよかった。」「いつもより水が少なくてきれいだった。川の底まで見えた。」「船の上は涼しかったよ。」など感想を聞くことができました。

船上体験は5回行い74人が参加されました。

最後に水路への転落防止を呼掛け、福山市上下水道局から提供いただいた「福山の水」をひとり一人に手渡しで配布しました。



船上体験を終えライフジャケットを脱ぐと汗びっしょりの子ども達でしたが、船上体験を楽しみにしていたようで、暑さとコロナ禍を吹き飛ばすような笑顔でした。

蓮池川自然体験が子ども達にとって大切な「ふるさとの思い出」になっていると実感しました。

農業用水の管理に関わる水土里ネットとして水質保全を含めたかんがい用水の安定確保に向けて地域住民との共生を図り、子ども達をはじめ、地域住民の方にも広く農業用水の役割や施設の管理の重要性を理解していただくよう、21世紀土地改良区創造運動に取り組んでいきたいと思ひます。